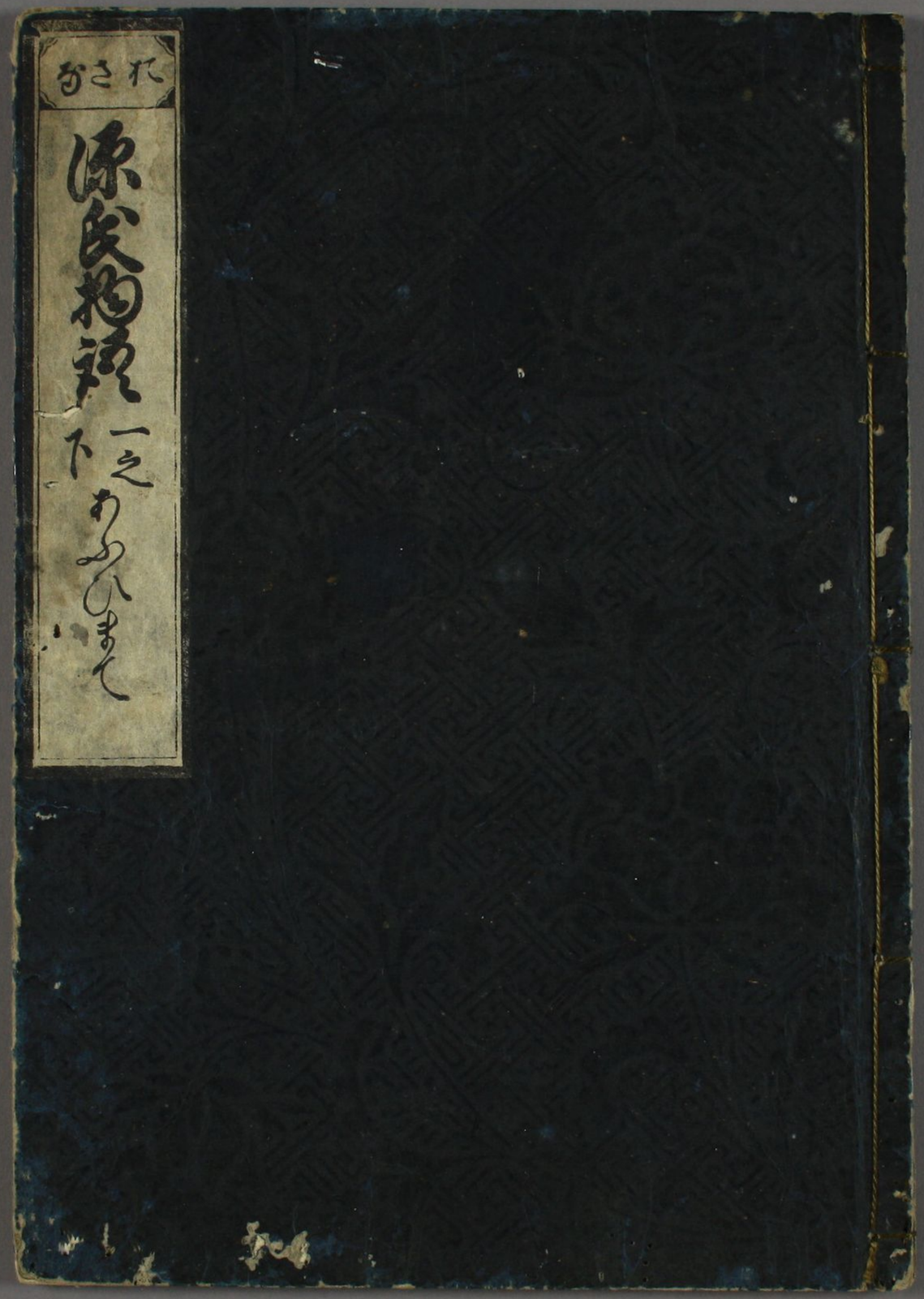
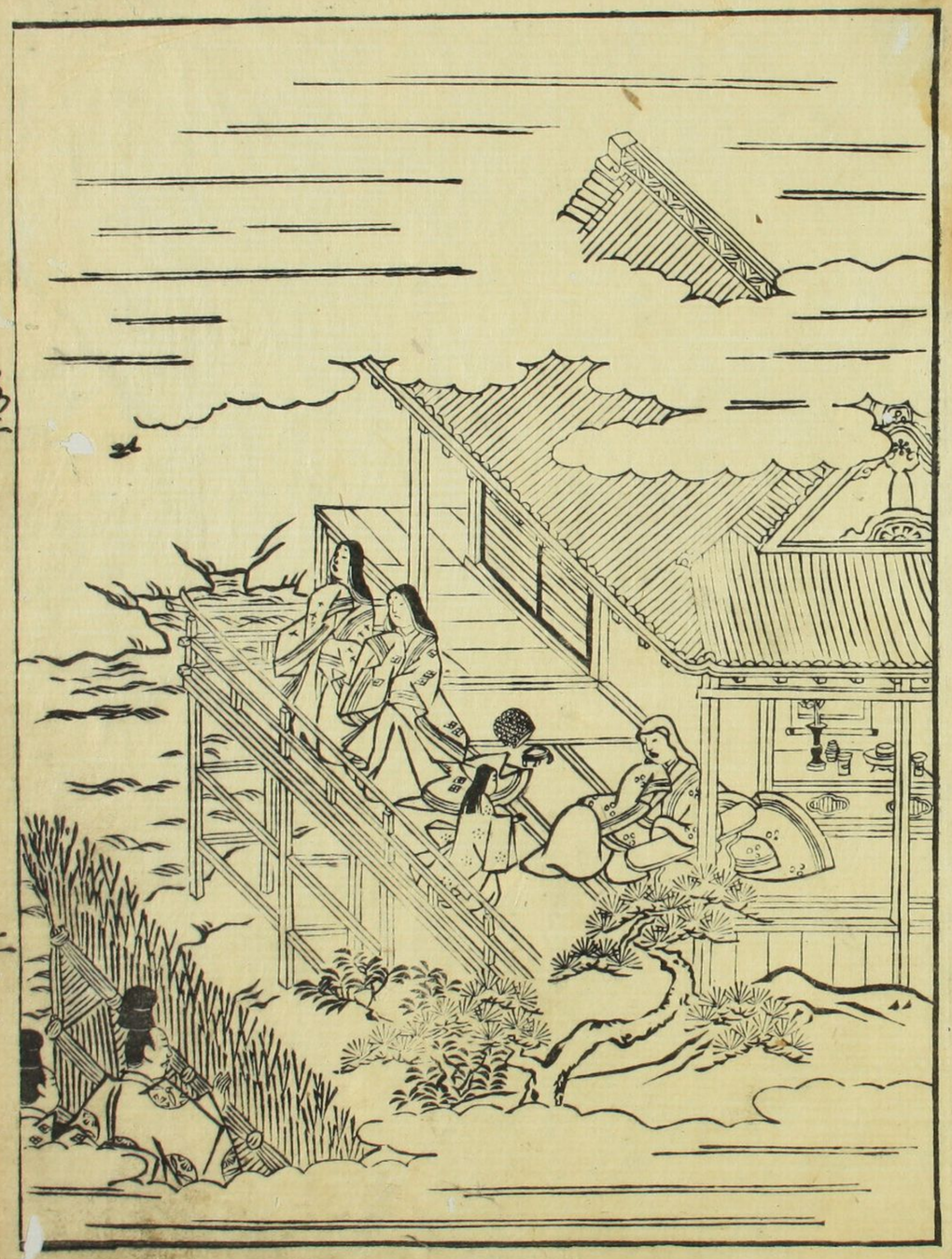

たさな
源氏物語 一之下

わかむらさき

源氏ナセ光れ去わかゝ爪にさゝひまひくゝ水山よ
初じるものあるあるよおいてゝ清ふをなりあらじ
ゝらあるゝれ仏まゝゝゝ絶りんとて三ゝ山くゝあか
しゝこんゝゝゝ八そゝゝだゝあるゝ中に小柴ゝ
らゝるゝつけゝゝ西八ゝあゝゝゝゝ乃ゝゝゝゝ
ゝゝこゝ女ゝゝゝ口ゝ八ゝ八ゝゝゝ代ゝゝゝ三ゝ
清ゝゝゝくゝゝゝ八ゝ八ゝゝゝ八ゝゝゝ
十ゝゝゝれゝゝゝゝゝゝゝ仏ゝゝゝ
八ゝゝゝ十ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ二ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

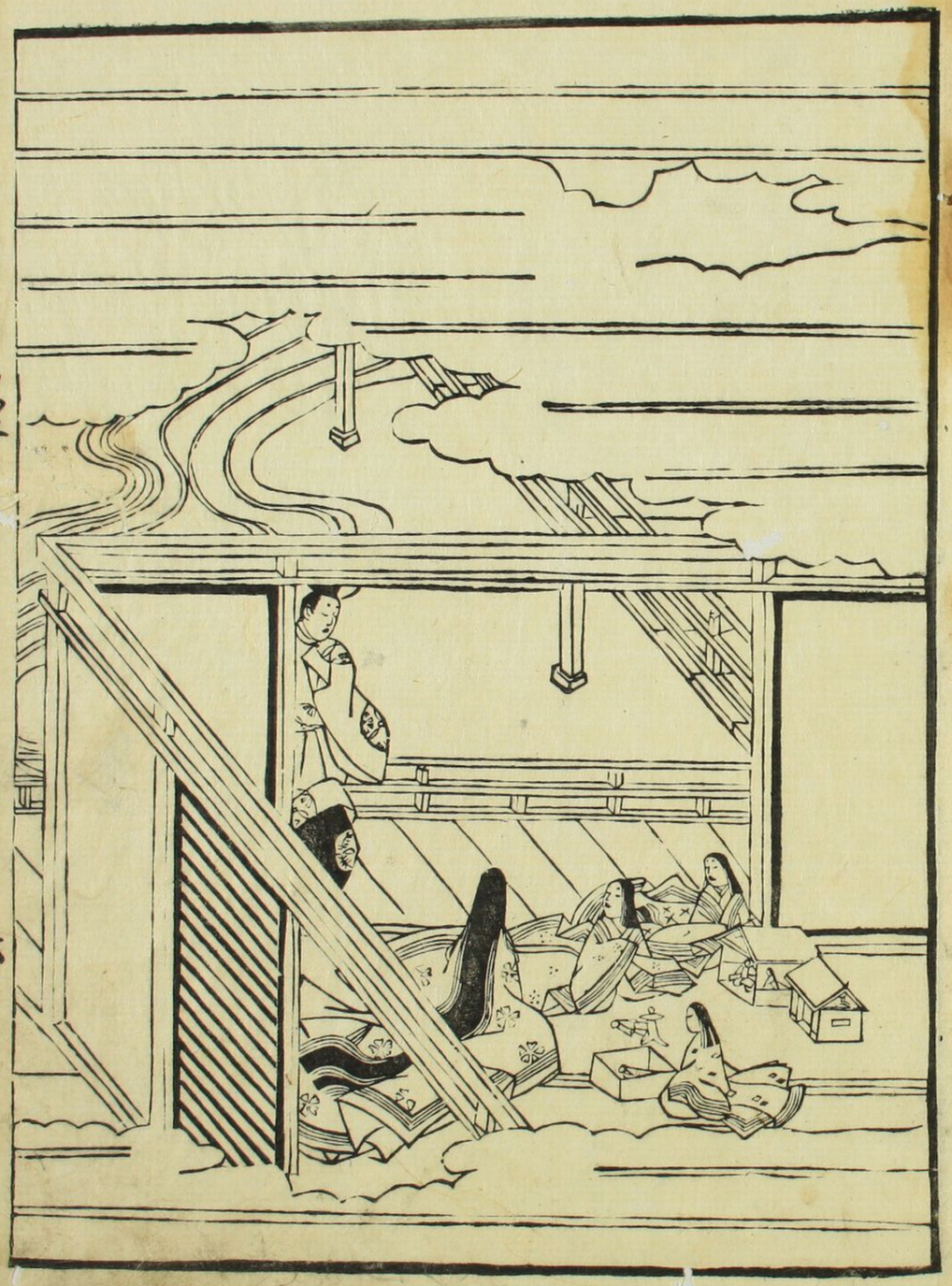
[illegible]

源氏のひくうちひきてをとをたゞしてよ門たてさせうの
人をうちうせをの
物ゝ者者ゝ者ゝ者ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



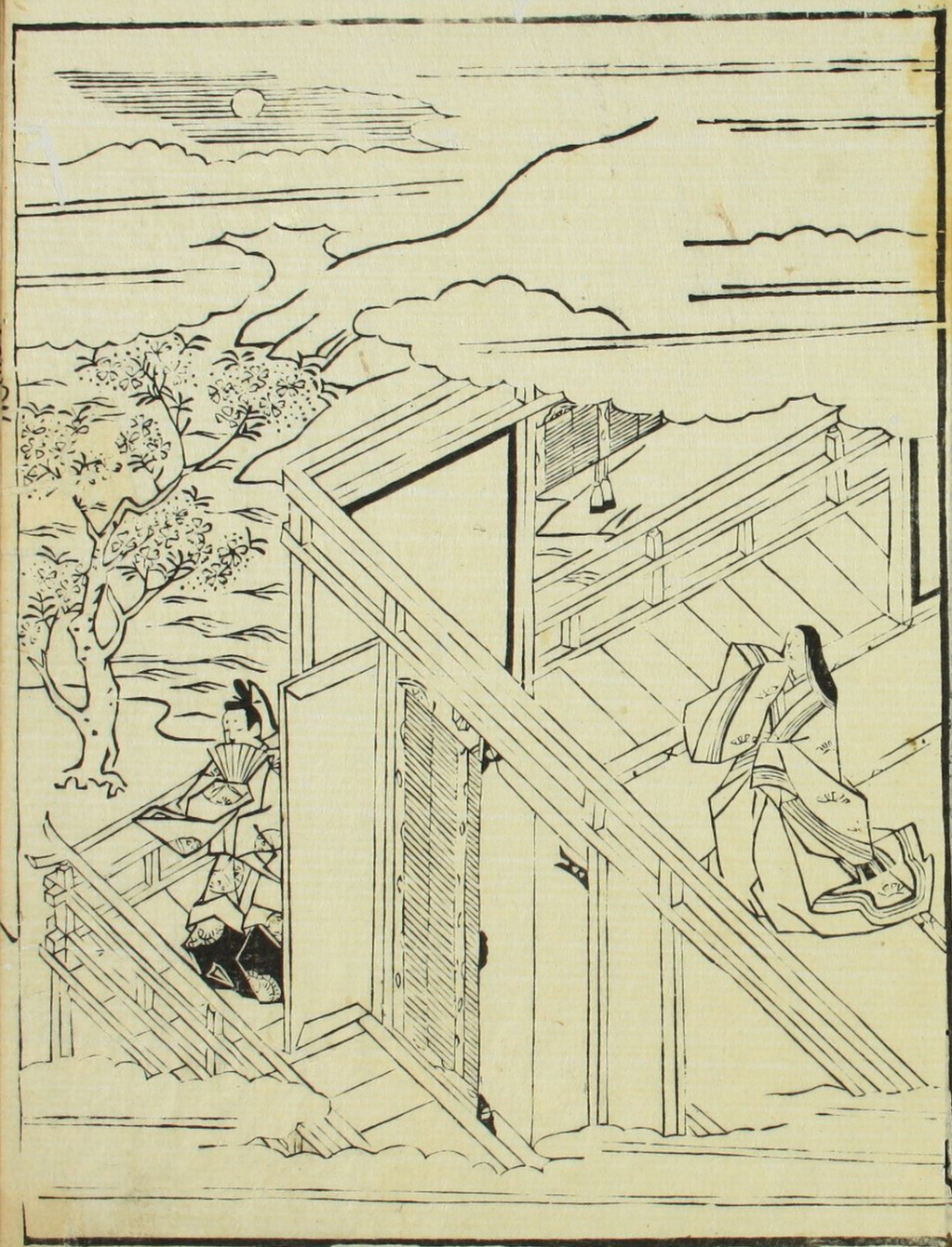
又の日の原

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年あけてはるさきだちてうめのはなさかりなるに
ものとしごろへてこのはるのうちらいたりてうつ
くしきあけてあそびしるのうつくしきはなのかを
ながめつゝ二月十日あまりのほどにみこのまへ
はなのもとにあそんとしたまひ
けりこれは源氏のきみよりはじめたてまつりて
うちつけのこゝろにはなをもてあそびたまふ
いとこゝろにくきまでなりあるべきかぎりの
こゝろをつくしたまへるなりけるをこの人
はまことにあはれにおもひたまへてそれ
ぞれにうたをよみかはしたまへる
源氏の大将
春の宮のおほきおとゞ
花の色は雪にまがへるときはかぬ
春の宮の女御
春の色にあくかをたにとまれかし
内大臣
ちとせをかけてにほへるこのもとに
春の宮の御
ちとせをかけてにほへるこのもとに
春の宮の
ちとせをかけてにほへるこのもとに
内大臣



源

はるばるとこゝまでたづねくるこゝろのほどはあさからぬなるべしとて

源

はるばるの神代の事はしらねども

はるばるとこゝまでたづねくるこゝろのほどはあさからぬなるべしとて

源

中たちかへりてこゝまでたづねくるこゝろのほどはあさからぬなるべしとて

源

みちのくにこゝまでたづねくるこゝろのほどはあさからぬなるべしとて

源

ひとへにこゝまでたづねくるこゝろのほどはあさからぬなるべしとて

源

あらんとおもひたちこゝまでたづねくるこゝろのほどはあさからぬなるべしとて

源

ここでんの事をしらずして

源

つゝもたぬのやうにこゝまでたづねくるこゝろのほどはあさからぬなるべしとて

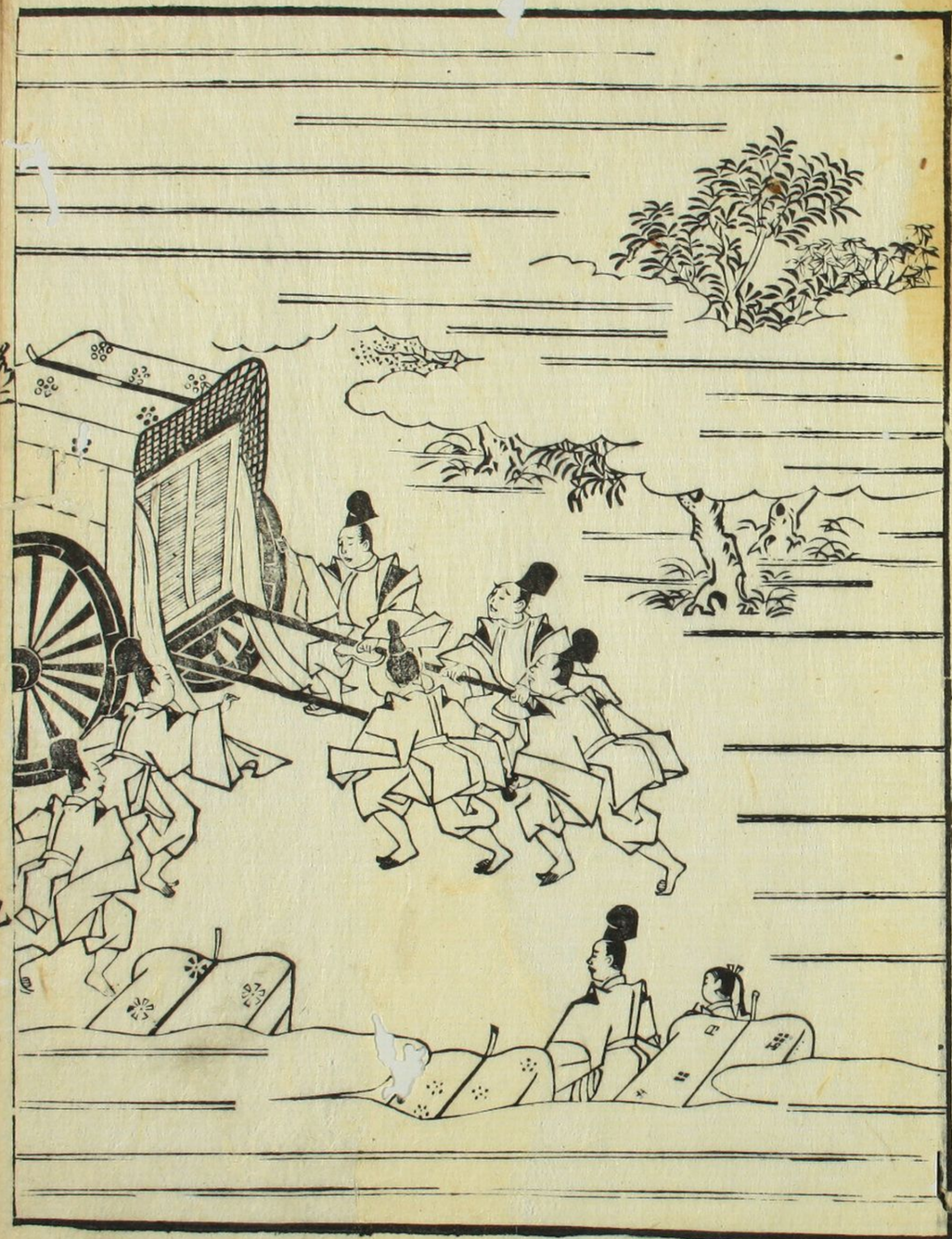
花乃えん　源十九歳

ここのつきはかりのあるうらうんでんの梅乃えんせきまへ

中ゑ者ゑとうきてんの桜乃はるのこゝろ中

ねたまへんさうでんつまこゝろえんまひまへ源のこゝろよ

中ゑ源あしまりて



[illegible]

[illegible]

[illegible]

源

あきはぎ　おやの人のもとにまかりて侍りけるに、ものがたりしてかへりなんとしけるに、ものがたりのついでに、

たれかまた　ひとりをしまん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

ものがたりのついでに、

ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

となんいへりけるを、ものがたりしけるに、あるじ、

ひとりをしまん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

人もとがめなくに　あかしてむ　ひぐらしのこえ　あけて　なくなと

とかきてとりいだしたりけるを、

のこりおほき　なごりにぞ　わかれぬる　あかつきの　つゆ　ものがたりせん

源

あきはぎ　ものがたりしてかへりなんとしけるに、ものがたりのついでに、

かぎりあれば　ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

ひとりのせとに　ながめをる　ものとこそ　みるらめ　あきはぎ

源

源

あきはぎ　ものがたりしてかへりなんとしけるに、ものがたりのついでに、

あきはぎ　ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

源

あきはぎ　ものがたりしてかへりなんとしけるに、ものがたりのついでに、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

源

あきはぎ　ものがたりしてかへりなんとしけるに、ものがたりのついでに、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

源

あきはぎ　ものがたりしてかへりなんとしけるに、ものがたりのついでに、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

源

あきはぎ　ものがたりしてかへりなんとしけるに、ものがたりのついでに、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

ものがたりせん　ことのはの　つきぬ　なさけ　ありしかぎりは

とかきてとりいだしたりけるを、

X